

ウィンターバルーンミーティング 2月上旬

夏とは違った白銀の世界にカラフルな熱気球が浮かび上がる幻想的な光景を目にすることができます。

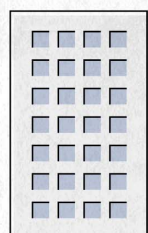


北海道バルーンフェスティバル 8月上旬

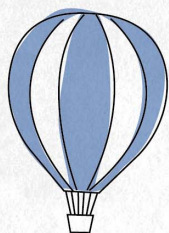
全国から約30機以上の熱気球が集まり上士幌の空がカラフルに彩られます。北海道ではこれだけ熱気球が集まる場所はないのでカメラを片手にぜひ一度来てみては。イベント期間中は熱気球の体験搭乗もでき、十勝のおいしい食べ物も味わえます。北海道ならではのダイナミックなイベントを体感してください。会場隣には航空公園キャンプ場もあり便利です。

熱気球の大会って何を競ってるの？

熱気球の競技は20種類ほどあり、その日の風の状況により決まります。基本的には離れた場所から離陸して、指定された畑の中の大きなターゲットに上空からリボンの付いた砂袋を投げ、どれだけ近づけたかを競います。

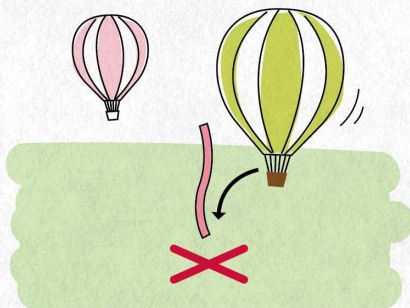


7階のビルと同じ高さ



知って納得！

熱気球の大きさは地上から20m以上あります。大きく膨らんでいる風船部分は風にとっても敏感なので、朝・夕の風が弱い時間帯に飛行します。少し大変ですが早起きすると、たくさんの熱気球を見ることが出来ます。



\ そこにある STORY / かみしほろは熱気球のまち



早朝、上士幌の空にカラフルな気球が浮かんでいる姿を運が良ければ目にするこも。そう上士幌は熱気球のまちでもあり商店街の看板や街灯などよく見たらバルーンのシルエットになっていて街歩きを楽しむの一つにもなっています。

1974年まだ日本には馴染みのない熱気球が4機上士幌に集まり熱気球フェスティバルが始まりました。当時はまだ熱気球を自ら製作していました。風まかせなフライトには広大な十勝平野が最適で、農家さんの協力を得ながら熱気球のまちとして歩み続けてきました。

8月、黄金色の小麦が収穫された後、夏の北海道のフライトが始まります。毎年8月上旬には全国から熱気球チームが集まり「北海道バルーンフェスティバル」が開催されます。夏の北海道で

は唯一多くの気球を眺めることができ、写真を撮ったり、会場で体験搭乗や食を楽しむことができる町の大きなイベントの一つでもあります。

冬の銀世界の中で行われるウィンターバルーンミーティングも魅力的なイベントで、白い大地とカラフルな気球のコントラストは言葉にできない美しさがあります。

一度は見えてほしい熱気球。楽しみ方はいろいろです。



かみしほろ豆知識①

熱気球の行方は風まかせ。農家さんに畑をお借りして着陸しています。また、気球の風船部分はウィンドブレーカーと同じような素材です。